

# 「医療」と「建設」から 地域貢献を考える

経営学を研究する天本が、戸塚駅近くにある、いしずえ整形外科の大久保俊彦院長と、戸塚区に本社を構える大洋建設(株)の黒田憲一氏の対談を企画しました。「医療」と「建設」。異なる業務に取り組むお二人ですが、地域貢献に熱心な共通点があります。今回、それぞれのお考えを語ってもらいました。



黒田代表取締役社長略歴

・東京理科大学卒業  
・清水建設納入社後、1992年 現 大洋建設(株) 代表取締役後継に就任  
・建設業労働災害防止協会神奈川支部 支部長  
・(一社)神奈川県建設業協会 常任理事  
・戸塚地区警察交友の会 会長  
・戸塚泉栄工業会 会長  
・横浜市富山県人会 会長



天本武略歴

・柏尾町在住  
・経営学博士  
・天翠禅画研究会 会長  
・日本宗教画法学院 教授・理事  
・日本禅画家協会会員

経営学を研究する天本が、戸塚駅近くにある、いしずえ整形外科の大久保俊彦院長と、戸塚区に本社を構える大洋建設(株)の黒田憲一氏の対談を企画しました。「医療」と「建設」。異なる業務に取り組むお二人ですが、地域貢献に熱心な共通点があります。今回、それぞれのお考えを語ってもらいました。

もできません。その方は軽い脳血管障害があったんですが、首の痛みはヘルニアでした。検査すれば、治療もできます。当院は血管も撮影できますので、血栓症も確認できます。こうした病院が増え、検診の精度がもっと

高まればいいですね。精密な検査をするためには建物の構造が対応できるとはポイント。MRI一つにしても限定されれば、治療もできません。I一つにしても限定されれば、建物にしか設置できません。また、コロナによって、病院内でのクラスターを防ぐため、患者の受け入れ導線が変わるのではないかと。病院の入り口も一つではなくなるように思います。

天本 地域への貢献が今回のテーマです。

黒田 昨年世界した父が当社を起こしたのは53年前。私がバトンを受け継いでから20年ほど経ちました。父が常に説いたのが「知育・徳育・体育」の重要性。自ら柔道家・小野教道と名乗り、「教道館」という道場を開館し、地域の子供達に指導を続けました。道場には今も約100人、生徒さんが通っています。

黒田 台風、地震などにより、道路が使えなくなり、輸送の遮断を危惧しています。訓練も定期的に行っていますが、幸い戸塚で近年大きな被害はありません。しかし、当社は台風が来る場合、必ずグループで独自の体制

## 対談

大洋建設株式会社  
代表取締役社長 黒田憲一

いしずえ整形外科  
院長 大久保俊彦

## いしずえ整形外科

戸塚駅西口徒歩2分

### 診療内容

- 整形外科
- スポーツ整形外科
- 変形関節症
- 腰痛
- 人工関節
- リハビリテーション
- 関節リウマチ
- 骨粗しょう症
- MRI検査
- 再生医療
- 全脊椎ドッグ
- 脳ドッグ(読影専門医師を配置)

### 診療時間

月～水、金/8時30分～正午  
14時15分～18時  
土/8時30分～13時 木・日・祝は休診  
住)戸塚区戸塚町99ポルテさくら2F  
☎045-881-1188 いしずえ整形外科 検索

定期検診の重要性  
天本 医療、建設への要望を互いにお話を。

黒田 我々の仕事は労働災害事故を未然に防ぐことが一番の課題。外傷的な事故がほとんどですが、一方で最近熱中症、コロナなど、目に見えない健康状態をどう事前に察知するのかが重要です。持病の有るか否か、日々の健康管理、労働安全衛生の構築を、医療の方々ともっと一緒にやりたいですね。

大久保 健康診断は重要ですね。先日、運転業務をされている方が、「首が痛い。脳血管系が不安」と来院されました。当院はMRIで脳ドッグ

私には地域貢献、社員・関連企業の方々の健康を第一とし、「自分・自社」のことで考えなくてはダメ。他者・地域のために」を掲げてきました。

大久保 当院には数多くの地域の方々が来られますが、コロナ感染は大きく

大久保 健康診断は重要ですね。先日、運転業務をされている方が、「首が痛い。脳血管系が不安」と来院されました。当院はMRIで脳ドッグ

大久保 当院には数多くの地域の方々が来られますが、コロナ感染は大きく



大久保院長略歴

・杏林大学医学部 卒業  
・横浜市立大学整形外科 入局  
・横浜市民病院 勤務  
・関東労災病院 勤務  
・2010年 いしずえ整形外科 開院

### 手術経験数

人工股関節置換術 2,811例  
人工膝関節置換術 706例  
寛骨臼回転骨切り術 799例  
その他 総手術例 5,847例

令和元年4月時点

大久保 当院には数多くの地域の方々が来られますが、コロナ感染は大きく